



## てくてく探検隊の取組み

水沢地方振興局土木部（岩建いわて 10月号より）

### 1 はじめに

水沢地方振興局土木部では、平成 17 年度の重要課題である「土木施設の適切な管理」を推進する方策として、「てくてく点検隊」を実施しています。公物管理はハード・ソフト両輪で行ってありますが、予算確保が難しいことことから、「ソフト主体の管理をみんなでしっかり行うことが大切である」として今年度から取り組んでいるものです。

このページでは、水沢地方振興局土木部が今年度取り組んだ内容の一部を紹介いたします。

『てくてく点検隊』とは・・・

通常パトロールでの道路施設や河川施設等の点検業務を補完し、区間や施設を特定しながら徒歩を主体としたよ  
りきめ細かい視点で確認することにより、施設の不具合等の早期発見が可能となります。この結果を踏まえ適切  
な対応を行い、道路等県管理施設の利用者に対し、より高い安全・安心をお届けします。

### 2 取組みの概要

#### ○「木の枝」と「落石」の調査 平成 17 年 5 月 26 日（木）

全 3 班体制で一般国道 397 号胆沢町地内の調査となりました。

##### 【木の枝班】

枯れ枝や折れそうな枝、そして建築限界が確保されていない枝など様々な観点から、約 8km 区間を調査。道路両側に成長した木々が立ち並び、路面上空をその枝葉が覆い、緑陰道路としてドライバーの心を癒す区間ではありますが、道路を管理する側となると気が抜けないところです。

##### 【ガケ班】

秋田県境からスタートし、50 地点を確認。ガケごとに番号を付した杭を打った後、デジカメにより状況を撮影し、地形図に場所をプロット。大変な作業でしたが、今回はデジカメ写真を今回と較べることにより変状が判るようになりました。これまで、どのガケが要対策箇所なのか判断が難しかったのですが、この杭により明確となり、最大の成果は職員が自ら点検しそれぞれの危険度を自らの目で把握できたことでした。沿道にはまだ随所に雪が残っており、雪崩の危険度についても確認できました。

また感心したのはブナの壮大な生命力とエネルギーでした。大木の根元のみ雪がすっかり解け、黒土が出ていました。春スキーなどを楽しまれる方には当然の光景かもしれませんが、自然の営みに触れることができ、感謝・感謝の一日でした。



出発前の熱心な打合せ



点検隊作業中



緑陰道路

### ○「歩道」は、歩いてみよう 平成 17 年 7 月 12 日（火）

調査は振興局を構成する 6 市町村を対象として歩行者の安全に重点を置いて、全 6 班体制で市街地を点検しました。前回と異なるのは、委託業者に同行していただいたことです。これによりその場で作業指示を行うことにより、夏休み前の迅速な対応ができると判断したからです。

隙間が広い防護柵や草で存在が判りにくい階段、防護柵が設置されていない大型集水枡など、対策が必要な施設は多く、以下の 3 ケースに区分し、今後は完了まで追跡管理を行うこととしました。

- ①すぐ対応する。
- ②資材等の準備が整うまで、当面バリケードを設置する。
- ③予算要求が必要なので、バリケードの設置等応急措置を実施する。

調査終了後に同行した委託業者から、「県職員と一緒に点検することにより、防護柵と防護柵の隙間や歩道路面の段差など、これまで見過ごしていたことがたくさんあり、勉強になった。これからは十分注意します。」との話があり、このことが今回の点検で得た最大の成果と感じています。



すり付けが必要な路面



防護柵（応急）を設置した集水枡



蓋不全



建築限界不足



不法占用

### ○「降雪前の路面段差点検」 平成 17 年 11 月

施設管理は職員全員で行うこととしており、事務職員も含め 1 年に 1 回は出動します。これまで参加できなかった職員も参加し、全員参加で点検する予定です。

#### ○これからのこと

春（木の葉が大きくなるうち）、夏（子供たちが夏休みに入る前）の 2 回の点検により、様々な課題が確認されました。特に点検結果のまとめ、そして対応状況の定期的な確認が大切です。今後は委託業者と一緒にその仕組みを確立していく必要があると考えています。

### 3 まとめ

今回の取組みは、ご紹介したとおり特別な行動はまったくありません。しかし、テーマをもって歩いてみると、そのまま放置できない事例と遭遇し、おもわぬ発見がずいぶんありました。ベテラン職員と若手職員が一緒に行動しましたが、何気ない先輩の言葉に、また若者の様々な行動にそれぞれ思うところがあったのではないのでしょうか。通常パトロールと視点を変えた取り組みは大きな効果を感じており、結果、現時点では昨年より道路環境チームに寄せられる住民意見も少なくなっているようです。これからも 1 つひとつの積み上げを大切に「てくてく点検隊」を継続させたいと考えております。